

将来に希望の持てるまちを実現するための5つの取り組み

市では、平成32年度を目標年次とする「後期基本計画」に基づき「笑顔があふれ やすらぎのあるまち うしく」を将来像とし様々な施策を展開しています。平成29年度には「将来に希望の持てるまち」を実現するために、下記の5つの柱を掲げ、それぞれに新たな取り組みに着手しました。平成30年度においては、これらの取り組みをさらに一歩進め、具体的な成果へとつなげていきます。

5つの柱

④ 観光資源を活用した活性化への取り組み

文化財を保護継承して活用する

287万3千円 担当/教育委員会

牛久市の更なる活性化を図るため、牛久シャトーの「日本遺産」認定に取り組んでいます。牛久市の歴史的魅力や特色を、日本国内だけでなく、海外への戦略的な発信につなげます。



国指定重要文化財：牛久シャトー旧醸造場施設 旧事務室

郷土の偉人を顕彰する

653万5千円 担当/教育委員会

小川芋銭生誕150周年を記念し、企画展「郷土牛久の先人たち—牛久沼の畔で華開いた芸術文化—」を実施します。展示会の実施にあたっては、牛久シャトーの活用を図ることで、文化・観光の両面から、市内外を問わずより多くの方々が訪れる機会の拡大にも努めていきます。



市指定文化財：小川芋銭作「老楊と荒村」

住井すゑ記念館を公開活用する

893万4千円 担当/教育委員会

平成29年度に寄附を受けた旧住井すゑ邸について、関連資料を公開する展示室などを備えた記念館として公開するための整備を行います。記念館を活用することで、牛久市の魅力の向上と、市民の郷土理解力の向上につなげていきます。



旧住井すゑ邸内 抱樸舎

5つの柱

⑤ 再び転入超過の波を呼び込むまちの整備

エスカードビルの利活用を図る

1億1,206万9千円 担当/建設部

エスカードビルの利活用を図ることにより、「牛久市の顔」としての拠点施設のリニューアルと地域の活性化を推進し、中心市街地に市民の憩いの場を創出します。平成30年度はエスカードビル基本構想・基本計画の策定を予定しています。



エスカードビル

第一幼稚園を建設する

1億8,253万7千円 担当/教育委員会

中根小学校敷地内に現在併設する第一幼稚園を移設するための新園舎整備を行います。移設にあたっては、ひたち野うしく小学校、および、ひたち野うしく中学校建設予定地の隣接地を計画。将来的には幼・小・中が一体となった教育環境を整え、地域の魅力向上にもつなげていきます。



第一幼稚園完成予想図

ひたち野うしく中学校を建設する

9億8,564万3千円 担当/教育委員会

ひたち野うしく地区の生徒数増加に伴う下根中学校の過大規模校化を防ぎ、生徒一人ひとりにより良い学習環境を提供するため、平成32年4月開校を目指し、ひたち野うしく中学校建設を進めます。本年度より、校舎・体育館等の建設工事に取りかかります。



実施設計検討段階でのイメージ図

牛久運動公園武道館を新設する

4億6,410万5千円 担当/教育委員会

牛久運動公園に武道館を新設し、日本古来より継承される様々な「武道」を通して、広く市民のスポーツ振興や、生涯スポーツ社会の実現を図るとともに、広域的な避難所としての役割を担う施設として活用します。また、平成31年度に開催される「いきいき茨城ゆめ国体」の空手道競技の補完施設としても活用します。



武道館完成予想図

平成30年度 予算額

一般会計	277億7,000万円
特別会計	173億9,700万円
合計	451億6,700万円

経常経費についてはこれまで以上に厳しい抑制を行うとともに、これまでの取り組みをただ踏襲するのではなく、まちづくりを振り返った上で、現在の課題を整理。各々の取り組みに対する改善の余地の有無、継続の可否を検証し、予算編成を行いました。

5つの柱

①生涯活躍のまちを支える取り組み

うしく健康プラン21を推進する

150万4千円 担当／保健福祉部

市民の生活習慣改善プログラムとして実施していた健康チャレンジに、平成30年度よりポイント制を導入します。「運動」「食育」「地域のつながり」「忘れないでね健診」の4つの視点から、楽しみながら続けられる健康づくりの取り組みを通して、健康寿命の延伸を目指します。



平成28年度しあわせクローバー

【介護特会】地域介護予防活動を支援する

279万5千円 担当／保健福祉部

地域でのボランティアを活用した介護予防教室などを実施し、高齢者全体の介護予防に取り組んでいます。平成30年度は認知機能低下者向けの継続型かっぱつ脳トレ教室の実施や、地域での認知症予防活動の受け皿となるサポーター養成講座を開催し、高齢者を地域で支える体制を整えます。



かっぱつ脳トレ活動

5つの柱

②安心した出産と、子育ての負担を軽減するための取り組み

予防接種を実施する

1億9,681万4千円 担当／保健福祉部

各種予防接種の実施を通じ、感染症の罹患と重症化を予防しています。予防接種法に定める定期接種に加え、ロタウイルスワクチンなど任意の予防接種への助成を行っていますが、平成30年度からおたふくかぜの予防接種を、1回一部助成から2回全額助成へと拡充し実施します。



子育て世代包括支援センターを設置し利用者支援事業を実施する

274万2千円 担当／保健福祉部

平成28年度より保健センター内に子育て世代包括支援センター「すまいる」を設置し、妊娠期から子育て期に渡る母子への支援を実施しています。産後ケアについて、宿泊・通所型に加え、平成30年度から新たに助産師による訪問型を実施し、きめ細かい子育て支援を展開していきます。

5つの柱

③地域経済の活性化・経済循環の取り組み

牛久市商工会の運営を助成する

1,891万9千円 担当／環境経済部

牛久市商工会の運営に対し助成を行います。平成30年度は、各部会事業や商工会だより発行への助成に加え、地域活性化の取り組みである「ピザとワインの街事業」のピザフェスタ開催に対して助成を行います。

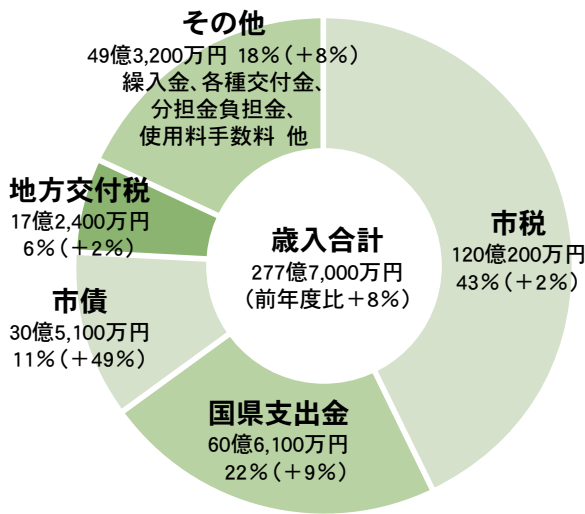


平成28年度ピザフェスタ

一般会計の状況

※円グラフ中()内は前年度比。

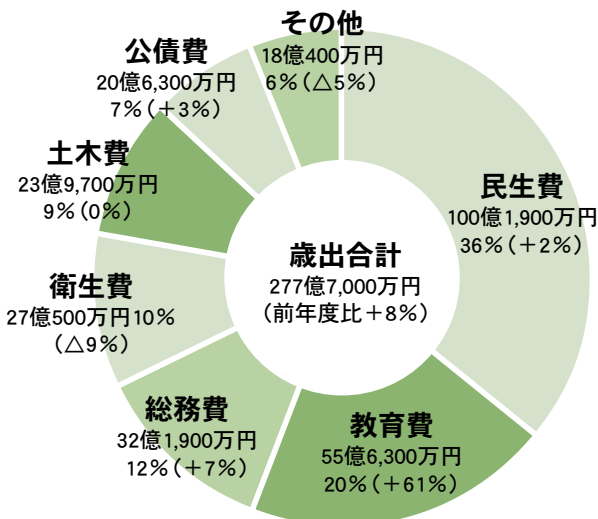
平成30年度一般会計歳入予算



歳入予算の内訳をみると、市税が、企業の設備投資に伴う償却資産の増額による固定資産税の増額などを見込み、対前年度比2%、約2億5100万円の増額。国県支出金は、ひたち野うしく中学校、武道館等の大型投資事業の採択により対前年度比9%、約4億8400万円の増額。市債についても大型投資事業の財源として、対前年度比49%、約10億200万円の増額となりました。

その他としては、交付金が地方消費税交付金の制度見直しに伴う増、繰入金が大規模投資事業に充当するために財政調整基金を取り崩したことにより、前年度比8%の増、3億8100万円の増額となりました。

平成30年度一般会計目的別歳出予算



目的別歳出予算の内訳を見ると、歳出経費の3分の1以上を占める民生費は、認定こども園の建設補助などの増額等により対前年度比2%、1億6200万円の増額、教育費は、ひたち野うしく中学校、武道館等の大型投資事業の増額等により対前年度比61%、約21億700万円の増額となりました。また、総務費では、ひたち野リフレの空調設備改修工事等に伴い、対前年度比7%、2億1200万円の増額となりました。

一方、衛生費は清掃工場延命化事業の減額により、対前年度比9%、2億8300万円の減額となっています。

その他主要施策

総務・衛生

- ひたち野リフレ空調改修(新規)
- 未利用地売却
- ボランティア移送サービス支援(新規)
- 重点地域への防犯カメラ設置
- 女性のためのレディース健診実施(新規)

農業・商工・消防

- 農地中間管理事業の推進

教育

- 小中学校への電子黒板等整備(新規)
- 小学校へのタブレット型PC導入(新規)
- 外国語指導講師(ALT)の増員

- コミュニティスクールの導入
- 放課後子ども教室の実施(新規)
- 運動公園体育館・中央生涯学習センタートイレ等改修(新規)

民生

- 地区社協活動の支援
- ヘルプカードの作製配布(新規)
- 民間保育園の運営支援
- 障害者地域活動支援センターの開設(新規)
- 保育士処遇改善に対する独自助成(新規)
- 民間保育園の建設支援
- 認定子ども園の建設支援(新規)

土木

- 通学路整備
- 既設道路・橋梁の長寿命化
- 未利用地売却
- 空家対策の実施
- 木造市営住宅再構築の検討(新規)

特別会計

- 認知症初期集中支援チームの設置
- 在宅医療・介護連携事業の実施

平成30年度
新規または
特徴的な事業